

答え合わせ・解説

問1	答え 1 青森県	青森県はりんごの生産量が全国の約半分を占める日本一の産地です。また、西洋なしの生産においても山形県に次いで全国2位となるなど、冷涼な気候を活かした果樹栽培が盛んに行われています。対して、西洋なしで1位、りんごで3位となるのは山形県です。
問2	答え 1 農薬の使用を減らして安全性を向上させ、生産者の情報を消費者に公開することで信頼を獲得する。	日本の農家は、価格面で有利な輸入農産物に対抗するため、品質や安全面での「付加価値」を高める戦略をとっています。具体的には、農薬の使用を制限して「安全性の向上」を図ったり、誰がどのように作ったかという「生産者情報」を明示したりすることで、消費者から「安心・安全な国産品」としての信頼を得る、いわゆる農産物の差別化が進められています。
問3	答え 1 仙台市	宮城県の県庁所在地である仙台市は、東北地方で唯一の政令指定都市であり、東北地方の行政や経済の中心地としての役割を担っています。福島市は福島県の、盛岡市は岩手県の、山形市は山形県の県庁所在地ですが、人口規模や都市の機能において仙台市が東北地方で最大です。
問4	答え 1 奥羽山脈などに火山が多く分布し、地下の熱エネルギーを利用しやすいため	地熱発電の設置条件は「火山の存在」が不可欠です。東北地方は奥羽山脈を中心に火山帯が形成されているため、地下の熱を利用する発電所の建設に適しています。他の選択肢は、風力・水力・潮汐発電の説明であり、地熱発電の地理的要因とは異なります。
問5	答え 1 やませ	オホーツク海高気圧から吹き出す冷涼な空気が、寒流である親潮の影響でさらに冷やされ、東北地方の太平洋側に流れ込む現象です。この風は濃い霧を伴うことが多く、夏の気温が上がらない原因となります。冬に乾燥した風が吹く「からっ風」や、山を越えた風が高温乾燥する「フェーン現象」とは性質が異なります。
問6	答え 1 仙台市	東北地方唯一の政令指定都市であり、行政や経済の機能が集中する地方中枢都市としての役割を担っています。広域的な交通網の結節点となっており、東北地方の各都市だけでなく、東京などの関東地方とも密接に結びついています。
問7	答え 1 山形県	盆地特有の昼夜の気温差が激しい気候は、果実の糖度を高めるのに適しています。この県は明治時代からさくらんぼ栽培の導入に取り組み、現在では全国生産量の大半を占める一大産地となりました。選択肢にある和歌山県や静岡県はみかん、岡山県はぶどうや桃の産地として知られますが、さくらんぼ全国1位という条件に合致するのは山形県です。
問8	答え 1 豊富な水資源を活用した医薬品製造	宮城県の東部には、山地から平野部にかけて土砂が堆積してできた扇状地が広がっています。この地形では河川や地下水などの水資源が豊富に得られるため、その良質な水を利用した医薬品製造拠点が数多く立地しています。県庁所在地の仙台市は、東北地方で唯一の政令指定都市として100万人以上の人口を抱えています。
問9	答え 1 東北地方の最北端に位置し、県庁所在地は青森市である。	青森県は本州の最北端、すなわち東北地方の最も北に位置する県です。県庁所在地は県名と同じ青森市です。選択肢にある「面積が最も広い県（岩手県）」「猪苗代湖がある県（福島県）」「気仙沼港がある県（宮城県）」はいずれも東北地方の他の県の特徴を示しています。
問10	答え 1 岩手県	東北地方の太平洋側に面した岩手県の沿岸部は、北部に「リアス海岸」として知られる三陸海岸があります。この地域は水深が深く、親潮（寒流）と黒潮（暖流）がぶつかる潮目（潮境）に近いため、世界的な漁場として知られています。隣接する宮城県や青森県と混同されやすいですが、リアス海岸の代表的な地域として岩手県を特定することが重要です。